

久山中便り

久山中学校

令和8年2月3日発行

第70号

次々と、入試本番

公立推薦・特色化選抜

私立の専願入試の発表も終わったばかりですが、次は、**公立高校の推薦入試・特色化選抜（2月3日）**が行われます。

推薦入試は、学校が推薦する生徒達です。で、学校からのお墨付きと言えますが、そのメリットとデメリットもあります。

【メリット】

- ・合格すれば早く進路が決定します。です。で、落ち着いて高校入学の準備ができます。
- ・学力試験の負担が軽減されます。面接や作文、実技、調査書の評価が中心となるため、三年間の勉強や委員会活動、部活動など、日頃の真面目な学校生活が直接合格に結びつきます。

【デメリット】

- ・高倍率になる可能性があります。福岡県内でも、人気校では高い倍率になり、狭き門となる場合があります。
- ・不合格の場合、一般入試に向けた切り替え

が必要になります。推薦で不合格になった後、すぐに一般入試の勉強に切り替える必要があります。気持ちの面で負担がかかります。

・面接の準備に手間がかかります。面接練習、作文（自己推薦書）の作成など、一般入試の勉強とは異なる対策を学校と連携して行う必要があり、時間と労力がかかります。

このように、メリットとデメリットをしっかりと理解して、推薦入試に臨むことが必要です。

2日（月）には、推薦入試、特色化選抜の皆さんには、事前指導を行いました。

面接練習にたくさんの方の時間を費やしてきたと思います。面接

で難しい質問を投げかけられた時にも、一生懸命にこたえようとする姿

が大切です。そこを面接官は見ているので、あきら

めず、粘り強く、頭をフル回転させて言葉を絞り出すことが重要です。

自分自身のありのままを見てもらえるように、力を発揮してほしいと思います。



生徒会総会議案審議（一・二年生）

13日（金）の午後に生徒総会が予定されています。議案は、年間方針と活動計画です。その議案の審議が学級で始まりました。

一年生は、初めての生徒総会ですので、審議には、二年生の生徒会役員が各学級に入つて、丁寧に教えていました。

令和8年度の活動スローガンは「**共創前進**」です。生徒全員が学校をどうすれば過ごしやすくなるかを考え、少しずつ前に進もうとする意味が込められています。中学校を卒業したら、一人一人違う道に進みますが、大人になった時に誰とでもコミュニケーションが取れ、多様性を尊重できる人になることがゴールだとのことです。（よく考えられています。）そのほかにも、心の花エリアでの挨拶についても、あらためて提案があります。

自分たちの学校は、自分たちで共につくって、前進していく。そ

んな久山中学校の次年度の取組を皆さんでしっかり話しかつてくれること期待しています。

